



年閏紀事

應和三年十月... 德川慶喜公... 十五代

大橋... 板元... 萬屋孫兵衛

彫工銀





彫工 銀  
初 日本  
元 萬  
孫





激浪川年問紀事

慶應三年十月徳川内府 天朝の表と奉  
 政權を返上し軍職を辞す旗下の志中下  
 平を抱く内府変の生ぜしむを畏れ大坂へ  
 退身は尾越の西侯大坂に至り内府の論  
 て押上洛と進む公衆諾し會衆を先  
 駆し入洛せし先鋒伏水に至る関り  
 大兵入を乞ひ遂に争論を生じ天朝を  
 起す東軍志がく破る敗聞大坂の陣は内  
 府錦旗の發砲の罪を恐り回陽舟に乗  
 して東下問罪の帥東下小當り恐  
 順謹愼罪を東台に待ち城地兵を  
 献し屢書を出して旗下の暴動を  
 鎮止せし若内府の虎狼尊氏乃  
 知く良民塗炭の苦を愛見内府  
 謹懐に人民の幸福を祈りしや

十五代 徳川慶喜公



彫工銀





板元  
日本橋通二丁目  
 萬屋孫兵衛

大橋  
 孫兵衛

彫工銀

